

業種／卸売業・小売業

主な事業内容／酒類の関連備品販売、企業の販促支援・代行

従業員数／200人

マネージャーを中心とした安否確認訓練を強化

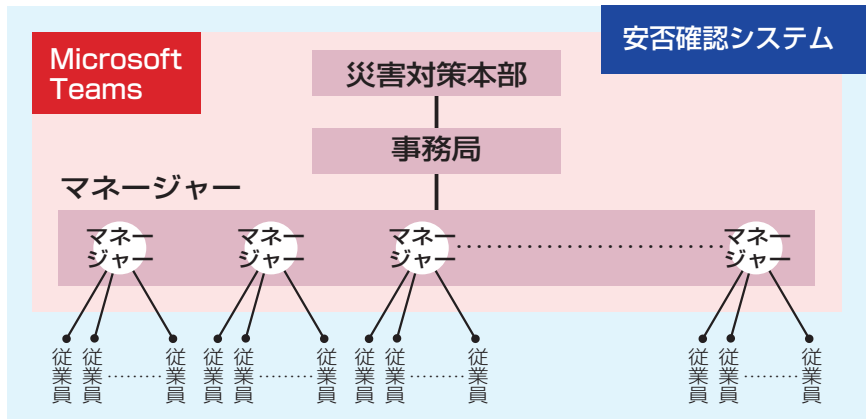
災害時には「安否確認システム」で集約された情報を、災害本部で立ち上げた「Teams」を使って全体を把握している。

「Teams」はネットの掲示板のようなもので、各部署のマネージャーに現況の情報発信ができ、マネージャーは、安否確認の返信がない従業員に個別に連絡を取り、状況を把握することになっている。

非常時に備え、内容ある訓練を

年4回行われる防災訓練は、本社勤務の全社員が対象。主に避難訓練と安否確認訓練に取り組んでいる。地震発生後火災が起きたことを想定し、参加者は、防災用品、

■安否確認のルート



非常階段、避難経路、避難場所等を確認し、安否確認システムに各自の状況をメッセージ入力する。

令和5年5月11日に起きた千葉県沖地震の際には、実際に安否確認システムが配信され、訓練通りスムーズに安否確認が実施された。



避難場所に集合。それぞれ避難経路を確認